

## ミスミグループ本社 2014年3月期 連結業績

### 3期連続で過去最高の売上高・営業利益を更新 国内市場の回復とミスミ事業モデルの海外展開が加速

株式会社ミスミグループ本社は本日、2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

（百万円）	2013年3月期	2014年3月期	増減率
売上高	134,844	173,904	+29.0%
のれん等償却前 営業利益※	17,109	21,093	+23.3%
営業利益	16,809	18,989	+13.0%
純利益	9,880	11,678	+18.2%
1株当たり純利益	110.28円	128.82円	

※2012年11月のDayton Progress CorporationおよびAnchor Lamina America, Inc.（以下北米DL社）の買収に伴うのれんおよびその他無形固定資産の償却前営業利益

#### <2014年3月期の連結業績ハイライト>

#### 1. アジア各国の生産活動が伸び悩むなか、海外市場におけるミスミ事業モデルの浸透により、売上高・利益ともに過去最高を更新

- 2014年3月期の売上高は1,739億円、前年比29.0%の増収となり、3期連続で過去最高を更新しました。
- 国内での円安継続による輸出関連企業の業績改善や米国経済の緩やかな回復など、一部に景気回復の動きが見られる一方で、近年世界経済をリードしてきたアジア各国では、中国の景気減速などの影響を受け、生産活動が伸び悩む情勢が継続しています。
- こうした環境下、当社グループはミスミ事業モデルの浸透に向けた取り組みとして、海外でのウェブカタログやウェブ受注システムを拡充し、価格だけでなく利便性の向上に努めることで顧客の潜在ニーズに答えています。また、インドネシアに設立した現地法人で2013年9月より販売を開始するなど、アジアを中心に営業拠点を拡充し販売力を強化しました。また、2012年11月に買収した北米DL社の新たな顧客層を取り込むことにより、従前より行っているミスミブランドによる販売と合わせて、売上の大きな伸長を達成することができました。
- 利益については、海外売上増加や最適調達に向けた現地生産・現地調達の着実な推進、円安の継続などにより、営業利益は189億円（前年比+13.0%）、純利益は116億円（同+18.2%）となり、売上高と同様、過去最高を更新しました。
- なお、2014年3月期実績から、買収した北米DL社の業績を控除すると、売上高は前年比+16.2%、営業利益は同+12.5%となります。

## 2. 全セグメントで増収

- 2014年3月期のセグメント別売上高は、以下の通り全セグメントで前年に対して増収となりました。

(百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減率
自動化事業	84,298	98,843	+17.3%
金型部品事業	37,020	56,309	+52.1%
エレクトロニクス事業	12,380	13,800	+11.5%
その他事業	6,747	7,654	+13.4%
調整額	▲5,602	▲2,703	—

- 金型部品事業では、自動車向け需要が堅調に推移したことや、2012年11月に買収した北米DL社の販売が寄与し、前年比で大幅な増収となりました。

## 3. 海外売上高比率は44.4%（前年比+10.8pt）と大幅上昇

- 2014年3月期の海外売上高は772億円（同+70.6%、現地通貨ベース+48.0%）、海外売上高比率は44.4%（同+10.8pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高（百万円）		前年比	
	2013年3月期	2014年3月期	増減率	現地通貨ベース
日本	89,557	96,635	+7.9%	—
海外	45,286	77,269	+70.6%	+48.0%
アメリカ	7,412	21,991	+196.7%	+178.5%
中国	15,400	21,984	+42.8%	+16.6%
アジア	16,813	22,113	+31.5%	+10.8%
ヨーロッパ	4,623	8,750	+89.3%	+62.1%
その他	1,037	2,429	+134.1%	+119.8%

- 国際市場におけるミスミ事業モデルの着実な浸透に加え、北米DL社の買収による販売増加が寄与したことにより、欧米地域を中心に高い伸び率となりました。
- ミスミ事業モデルの更なる強化を図り、グローバル展開を加速してまいります。

## 4. 配当性向25%基準を継続、前年比4.71円の増配

- 当社は、経営環境や業績動向に加え、安定的な経営基盤の確立に必要な内部留保水準、財務体質、資本効率などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めています。
- 配当に関しましては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2014年3月期につきましても、この基準を引き続き維持いたします。
- 従いまして、2014年3月期の業績実績により、一株当たり期末配当金は13円62銭を予定しておりましたが、当期純利益が前回予想を上回ったため、前回予想から1円86銭増の15円48銭とさせていただきます。これにより、年間配当金は第2四半期末実績の16円68銭（前年比5円43銭増）と合わせ、32円16銭となります。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
当期実績	16.68	25.0%	15.48	25.0%	32.16	25.0%
前回予想	—	—	13.62	—	30.30	—
前期実績	11.25	25.0%	16.20	25.0%	27.45	25.0%

#### 5. 2015年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2015年3月期の業績見通しは、前年度に引き続き売上高、利益ともに過去最高を更新することを見込んでいます。
- アジアにおける中国の減速や新興国の成長率鈍化など、世界経済の先行き不透明感が残るなか、当社グループは海外事業におけるコストおよび納期競争力を一層強化し、国際市場における競争優位性を確立してまいります。

#### 2015年3月期 連結業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益	1株当たり 配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通期	196,000	20,500	20,500	12,300	135.25	33.85
前年比	+12.7%	+8.0%	+6.9%	+5.3%	+6.43円	+1.69円

#### 〔業績予想に関する留意事項〕

この資料に掲載されている2015年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2014年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR 担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
--